

40歳からのキャリアチェンジ 人生100年時代の勉強法

「人生100年時代」と言われています。

現在の仕事の延長線上にない「キャリアチェンジ」を実現するにはスキルチェンジが欠かせません。新しいスキルの習得には、その過程（学習方法など）が重要になります。私が40歳でキャリアチェンジを試みた際に、身に付けた勉強法や情報のインプット法をお伝えします。

加藤博己税理士事務所

加藤 博己

URL <https://katoh-tax.com>



私が会社を辞めた (キャリアチェンジした) 理由

- ・大学卒業後に一部上場企業に入社し19年間勤務
- ・退社直前はヨーロッパの子会社に出向中
- ・日本から送られてくる指示に日タイライラ
- ・自分で決められない仕事を一生続けるのか？
- ・悩んだ結果、40歳のときに既婚者で二児の父親だったが、実家が営む小さな税理士事務所を継ぐことを決意

< キャリアチェンジを決断 >

- ・退職後は実家の税理士事務所を手伝いながら、税理士試験の受験勉強をスタートさせる
- ・3年をかけて、3回の受験で5科目合格

< 晴れて！税理士登録に至る >

本稿では、こうした経緯の中で身に付けた中高年向けの勉強法について紹介します。

キャリアチェンジして 良かった点・悪かった点

勉強法についてお話しする前に、キャリアチェンジを経験したことで見えてきた「良かった点」と「悪かった点」を以下にまとめます。

収入の問題がないとは言いきれませんが、トータルでは満足しています。

▶良かった点

- ・上司からの指示がなくなり時間管理がやりやすくなった
- ・仕事の意志決定を自分ができるようになった
- ・仕事のコントロールがモチベーションの向上につながった
- ・会社の枠にとられない世界を経験することができた

▶悪かった点

- ・会社員時代と比較すると収入は下がった
- ・肩書や組織に所属するという安心感がなくなった（ただし、これはすぐに慣れる）

資格取得を目指すなら「短期決戦」が基本 時間を生み出すには何かを捨てる

●目標達成時期の設定

どんな資格であれ、試験合格のために「資格取得の目標時期の設定」が重要です。私の場合も40歳を過ぎてから体力以上に気力の衰えを実感しました。つまり、目標時期の設定がないとモチベーションの維持が難しくなるのです。

合格まで諦めずに継続することが理想ですが、気力が衰えてくるとままなりません。結論を言えば「短期決戦を心掛ける」ことです。そのため、自分にプレッシャーをかける方法として、

- ・目標を書き、家族などの目につきやすい場所に張り出す
- ・家族の前で合格目標時期を宣言する
- などをオススメします。

●軌道修正も大切

私の場合、紙を張り出すことはしませんでした。2年間で合格を目指す旨を家族に伝えていま

た。残念ながら1年目の試験で不合格科目があり、この方針は修正せざるを得なくなりました。

このように、途中で修正を余儀なくされるケースも多いと思いますが、そうした場合は未達成の原因は何か、勉強法に問題はないかなどをチェックし、目標時期を再設定してモチベーションの維持に努めてください。

また、様々な理由で資格取得を断念するケースもありますが、目標時期がないと、こうした決断のタイミングも逃してしまいます。

●勉強時間の創出

中には「そもそも、勉強の時間が確保できない」と言われる方もいるでしょう。この点に関しては、資格取得までは、自分の時間の中で「捨てるもの」「やらないこと」をはっきりさせてください。

時間がないと言いつつも、気付いたらネットサーフィンやテレビ

鑑賞をしていた経験はありませんか？ こうした時間を浮き彫りにすることで勉強時間を生み出せます。まずは、自分の1日の行動を逐一記録してみましょう。

忙しい人向けには、クラウドサービス「TaskChute Cloud」やiPhoneアプリの「Taskma」や、スマホでタスクごとの時間を記録できるツールがあります（一部有料）。時間の記録は習慣化してしまえば容易に継続できるので、大まかでもかまいませんから1日の行動時間を記録してください。すると、何をしていたのかよく分からない時間が見つかるはずです。

資格を取得すればゴールインという勘違い 自分磨きは長生きにおける最高のリスク回避策

●通用しない自分

税理士資格取得直後は、もう勉強しなくてもいいという安心感が私の中に広がっていました。

ところが、税理士の仕事が本格的にスタートすると、顧問先の経営者との会話が思うように続か

●本気で捨てる

「不明朗な時間はない」「それでも勉強時間が足りない」という方は、とにかく今やっている何かをやめるしかありません。1日は24時間です。時間の割り当ては、自分で決めるしかありません。

私は、試験合格するまでは勉強と最低限の生活以外はすべて捨てました。テレビは視ない。資格試験に関係ない本や雑誌も読まない。家族との外出や外食も控えました。ここまで、極端にやる必要はありませんが、資格取得までは「これとこれはあきらめる」という決断は欠かせません。

いことが度々ありました。質問内容が税務関連であれば問題ないのですが、それ以外は表面的な話しかできていない自分がかしい。上場会社勤務で経験は積んでいる、税理士資格も取得した、中小企業の経営者との会話にも充分

通用すると思っています。

しかし、質問される内容や各々の会社における課題は千差万別で自分1人の、しかも1社だけの会社経験ですべて答えられるほど甘いものではありません。そして出した答えが、資格取得とは違う自分磨きの勉強が必要であるということです。

●人生100年時代を生きる

さて、AIが税理士の仕事を奪うかどうかは別としても、税理士に限らず、仕事内容や世の中から求められるサービスは常に変化していきます。

現在の私は、税理士資格があるから一生安泰とは限らないと考えるようになりました。正直、会社を辞めたときは「我ながら40歳という年齢で思い切ったスキルチェンジ、キャリアチェンジを凶つたものだ」と思っていました。

しかし「人生100年時代」を考えると、40歳でのスキルチェンジは、人生の折り返し地点に到達する前なのです。

22歳で社会人になり、40歳で最初の大きなスキルチェンジを図りましたが、次は60歳に向けて、緩やかで継続的なスキルチェンジを目指そうと考えています。税理士試験合格のような急激なものではなく、60歳までの残りの時間を使い少しずつスキルやキャリアの方向性を広げていくようなイメージです。

60歳になったとき、今の自分と比較して「あの頃と比べるとずいぶんスキルが広がった」と思えるようにしたいのです。人生100年時代を生きるとは、今後も様々なリスクを背負うことを意味します。自分を磨き、新たなスキルやキャリアを身に付けることがその回避法となるのではないのでしょうか。

以下に、私の経験から得た、資格取得とは違う自分を磨くための3つの勉強法を紹介します。ぜひ、参考にしてください。

- ① 読書
- ② オーディオ学習
- ③ セミナー

1

読書



様々な分野の知識を得るという意味で、読書は外せない。読書以外の2つ（②オーディオ学習・③セミナー）の方法に、たどり着いたのも読書を通じてであった。

仕事に直接役立ちそうな本だけを読んでも自分の知識は広がらない。興味を持った本は何でも読もう。私の場合は一カ月に10冊を目標にしているが、本当に知識を得るなら足りないぐらい。速読法は習得していない。

Amazonの電子書籍（Kindle）を中心に購入

場所やコストの観点から、Amazonの電子書籍（Kindle）を中心に購入。「電子書籍だと読

みにくい」という意見もあるが、続けていけば慣れる。

普段は、Kindle Paperwhite という端末で読んでいるが、図表が多い書籍についてはiPadのKindleアプリで読むことにしている。

Kindleで読む最大のメリットとは

本の内容を振り返りやすいという点が挙げられる。読んでいる途中で気になった文章にハイライトを付けることができる。

これを「Kindle:メモとハイライト」(<https://read.amazon.co.jp/notebook>) というサイトでまとめて見ることができる。

読書は一度だけでは頭に入らない。気になった箇所を定期的に読み返すことで、知識を自分のものにすることができる。

2 オーディオ学習

読書でも物足りない…。もっとスキマ時間を活用できないかと感じていたとき、一冊の本の中に「オーディオ学習」という項目を見つけて実行することにした。

歩行中や運転中は、耳は空いている。これを活用しない手はない。しかし、適切な学習教材を見つけることができずスタートが切れない苦勞もあったが、現在は、下記のサービス活用している。

Audiobook.jp (旧 FeBe)

<https://audiobook.jp/>

オーディオで聴く読書。多数の書籍が販売されており、分厚くて手が出せないと感じる本も耳で聴くのであれば苦痛にはならない。

レガシクラウド

<https://www.legacy-cloud.net/>

主に士業向けの音声教材を販売しているサイト。一般のサラリーマンの方が興味を持たれる教材はほとんどないかも…。

実学 M.B.A.

<http://www.kandamasanori.com/LP/mba-01/>

コンサルタントの神田昌典氏が最新の洋書の紹介やインタビューを毎週配信しているプログラム。

オーディオ教材は、基本2倍速で再生し最低2回は聴く。最初は1.25倍速あたりから初めでもOK。

パソコンのiTunesに取り込み可能な教材であれば、オーディオブックとして保存してからiPhoneに同期させれば、iBookアプリで1.25倍速、1.5倍速、2倍速での再生が可能である。

3 セミナー

セミナーは人との出会いの大きなチャンス

ネットや書籍などで興味を持ち、会ってみたいと感じた人物がセミナーを開催していないかをチェックする。興味を持った人物には直接会いに行くべきである。それにより、本やブログなどに書かれている内容を、より深く理解できるようになる。また、人によってはセミナー後に懇親会を開催するケースもある。こうしたチャンスを活用し、会って見たかった人物と直接対話をして見聞を広げよう。

こうしたセミナーには自費負担してでも参加してほしい。私自身、会社員時代は時間的

な余裕がなく、このようなセミナーには全く参加できなかったが、今となっては積極的に参加しておけばよかったと反省している。

■ セミナーを探す方法

- ・受講したい^①講師、が決まっているケース
講師のWebサイトを定期的にチェックする。
WebサイトがRSSに対応している場合には、RSSリーダー (Feedly (<https://feedly.com>) など) を使うと便利。
- ・受講したい^②分野、が決まっているケース
Googleアラート (<https://www.google.co.jp/alerts>) に興味のあるキーワードを登録する。関連する情報をメールで受け取る。そうした情報の中に、求めるセミナー情報が含まれていることがある。